

陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

本調査は、令和8年2月5日及び令和8年3月3日～6日に陸奥湾湾口周辺海域の12地点(2月は主要6地点)で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)により実施しました。その結果、主要調査地点(St. 3、4、8、9、11、12)における平均稚仔分布密度は2月に0個体/m³、3月に0.003個体/m³でした(図1)。主要調査地点の2～3月平均稚仔分布密度は0.002個体/m³となり、過去3年間の0～0.001個体/m³と同程度の低い水準が継続しています(図2)。(担当：資源管理部)

※令和8年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

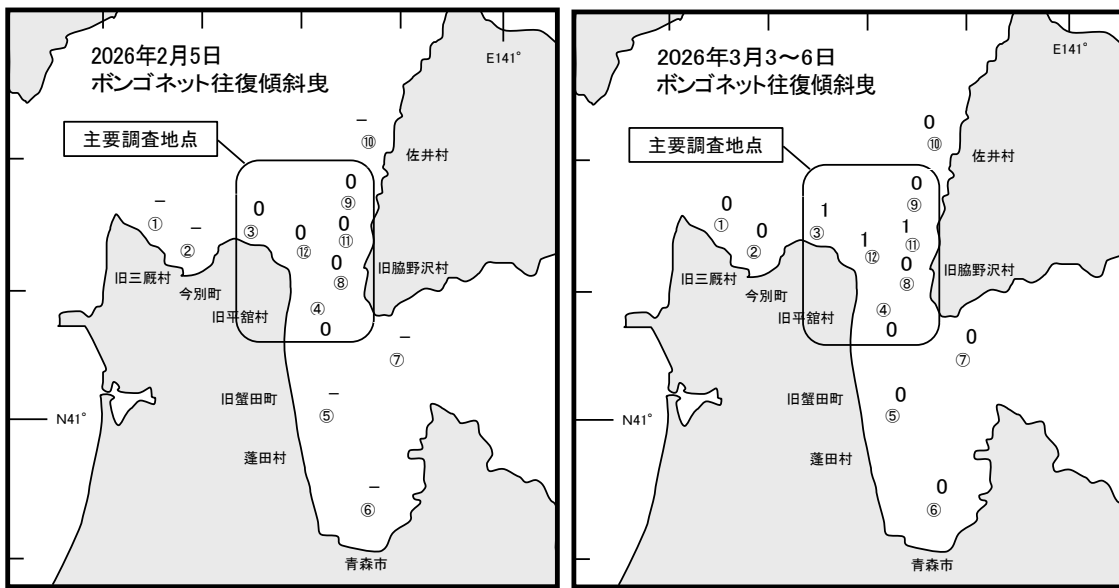


図1 各調査点におけるイカナゴ類の出現個体数(左：2月調査、右：3月調査)
(単位：個体/100m³)

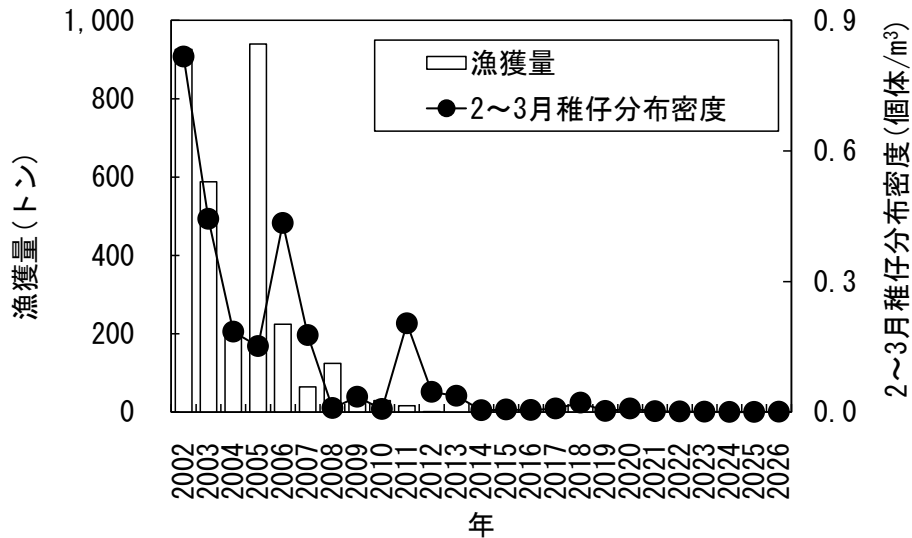


図2 イカナゴ類漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移